

■平成29年1月11日（水）

1年生メンバー5名参加。



今日のハセックは、昼休みに実施しました。

まず、各自が英語で冬休みの過ごし方について報告をしました。多賀大社に初詣に行ったメンバー、福井方面に家族でスノーボードに行ったメンバー、祖父母宅でおせち料理をご馳走になったメンバーなど、各自の内容について参加生徒同士、英語でやりとりをし、表現の幅を広げました。ニア先生は、特に「おせち料理」に興味を持った様子で、その種類を出し合い、それらの縁起の良さ（例えば、「黒豆」なら「まめに働く」など）についての由来を、やや時間をかけて説明しました。ニア先生は出身地・ミシガン州に2週間ほど帰省し、家族や地元の友人と久しぶりに会って年末年始をゆっくり過ごしたとのことでした。

その次に、各自、「新年の抱負」を英語で述べていきました。「英検に合格する」「英語をもっと話せるようになる」など英語関連の抱負が多かったですが、それらの達成に向けて、日々の目標、週毎の目標などスモールステップの成功経験を積み上げ、自信をつけていってほしいものです。

■平成29年1月25日（水）

1年生メンバー4名参加。

今日は、今月6日に、日本老年学会が提言をおこなった、「高齢者」の新たな区分を掲載した新聞記事を参考に、高齢者について簡単なディスカッションをおこないました。現在は「65歳以上」とされる高齢者の定義を、「75歳以上」を対象者とするというこの提言。記事を読んで現状を把握し、少子高齢化が進む昨今、高校生が高齢者に対して普段どのようなことを感じているか、さらに、

ニア先生の出身の米国では高齢者はどのように生き甲斐を見いだしているか、話し合いました。

祖父母のいる家庭の生徒は、「普段から、自分から話しかけるようにしている」「運動する等、健康に気をつけているようだ」「野菜を持ってきてくれる祖父母に感謝している」などの回答がありました。一方、ニア先生からは、「家族一緒に旅行や食事、買い物に出かけたりしている」と説明があった後、「米国では高齢者も元気な間は、若い世代の家族と一緒に暮らさず、自動車の運転をはじめ、積極的に社会に出ようとする動きが強いのではないか」とのコメントがありました。



本校は普通科の中に「看護コース」を設けており、卒業後は医療機関への就職を目指して看護大学等に進学する生徒も多くいます。今回は数値データを整えた、詳細な日米比較はできませんでしたが、高齢者が健康維持にいかに向き合っているか、より広い視野から考察してくれることを期待したいと思います。

■平成29年2月11日（土）

1・2年生メンバー6名、第22回フレンドシップカップレシテーションコンテストに出場。小森さんがゴールドプライズ（2位相当）に輝く！

（滋賀県高等学校英語教育研究会主催、会場は滋賀大学大津キャンパス）

毎年2月に開催される恒例となったこの大会。午前中は初心者部門と経験者部門に分かれて予選が行われ、午後はそれぞれの部門別決勝と予選部屋別にA

ALTによる特別セッションがありました。今回も滋賀大学教育学部で行われ、参加者は約120名。本校からは1年生の山下莉采さん、中西愛裕美さん、初村瑠夏さん、北村莉々果さん、2年生の谷田菜摘さん、小森麻由さんの計6名のハセックメンバーが出場しました。

当日、滋賀県内は大雪警報発令中で、開始が30分遅れましたが、そんな雪や寒さをものともせず、12月から練習に取り組んできた6名は、自信をもって元気に発表しました。課題文（出典は、欧米の小学校で使用される絵本や冊子、イソップ物語等）を暗記するだけでは不十分で、発音に気を付けることはもちろん、原稿内容に合った顔の表情や声の強弱、抑揚、ジェスチャーを上手にアレンジして発表する必要があります。

予選審査の結果、小森さん（経験者部門）が決勝戦に進むことになりました。



午後は決勝戦が行われた後、予選の部屋に分かれ、ALTの指導の下、予選で一緒になった他校の生徒達と英語のクイズやスキット作成等、ユニークな活動を楽しみました。普段とは違ったALTによるセッションは斬新感と緊張感がほどよく生まれ、どの部屋も和気あいあいと盛り上がっていました。



最後に決勝審査の結果が発表され、小森さんは、見事、ゴールドプライズ（2位）に輝きました。本校生徒がこの賞を獲得したのは、平成12年の第5回大

会以来で、１７年ぶりとなります。小森さんは昨年度大会でも初心者部門で入賞しています。

県内の高校生、英語教員、ＡＬＴ、ボランティアの大学生が一堂に会し、英語活動をととして「Friendship（友情）」をあたためるという大会コンセプトをもつ大会。ハセックからは毎年出場し、自らのさらなる英語力向上のためのきっかけになっています。来年度も是非、参加してほしいものです。

